

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



SOLANカフェ、ありがとうございました！

日曜日に開催した SOLAN カフェへのご感想が続々と届いています。
たくさんのメッセージが寄せられており、また、長文でお寄せ下さった加賀田も多いので、抜粋にていくつか紹介させていただきます。

本日はお忙しいところ、素敵な企画をありがとうございます。

入学式以来でしたので先生方、保護者の皆様にお会いできて嬉しかったです。他の学年の保護者様にもお話が聞けてより一層、わくわくしました！何か不安があって参加したわけでもないですが、楽しい時間を過ごせました。

またこのような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいです。

ただ、行くまでは、知り合いもないし、どんな保護者様がいらっしゃるかな？私と話してくれるかな？と不安でした。

結論から申しますと、それはそれは、皆様気さくに話してくださり、安心しました！というのが率直な意見です。

ただ、これって息子たちも入学式の時と同じ気持ちでしたよね？

それなのに、その気持ちに寄り添うどころか入学式は行くのが当たり前とっていました。

きっと、こんな気持ちで当日教室に行き、式典に参加し、アピールタイムを迎えたんですよね。

改めて息子たちに対して、尊敬の念でいっぱいになりました。
大人も子どもも緊張したり、不安だったり、そんなことは当たり前なのに、
日常生活の中で忘れがちになっていました。

これからも息子の声に耳を傾け、必要な時には手を差し伸べ、
不安で振り返ったときには、笑顔を返せるようにしていきます。

大切なことを改めて教えていただきました。
本日はありがとうございました。

こちらのメッセージを読ませて頂き、私も改めて子どもたちの視点で入学式
を振り返ることができました。

初めての場というのは、誰でも緊張しますよね。

どの大人にも子どもの頃があって、初めての環境に飛び込んだ時の緊張や不
安を誰しもが覚えたはずです。

でも、大人になると「喉元過ぎれば熱さを忘れる」なのか、その頃の自分の
ドキドキした感覚は忘れ去られていることが多いのかもしれない。

私も、パフォーマンスタイムを思い返して改めて思います。

あの壇上に立つだけでも、それはやっぱりすごいことなのです。

そして、そんな風にはじめの一步を踏み出す時に、周りの大人たちが「安心
して失敗できる環境を用意する」ことの教育的効果もやっぱり計り知れません。

お家の方々や我々教員との連帯・連携も同じですね。

色んな試行錯誤を繰り返しながら、共に色んな山を乗り越えていけたらいい
なあと改めて思いました。

次回のご参加も、お待ちしております。

“SOLAN カフェ、貴重な機会を作ってくださりありがとうございました。
たくさんの方と話すことができ、とても温かい学校だなと改めて感じまし
た。

子どもの悩みなど、ひとりだと頭の中でぐるぐる考えてしまいましたが、皆さんのお話を聞いたり、話を聞いてもらったりする中で整理された気がします。

親としても面白いことやりたいね、という話も出たので、これからもゆっくり仲良くなっていきたいと思いました。

どうもありがとうございました。”

色んな話題が飛び交ったことが私も印象的でした。

特に、お子さんのご家庭での様子を和やかな雰囲気の中で交流できたことが私はとても嬉しかったです。

他にも、授業に関する話題も色々飛び出しました。

「ゴマダンゴやジューカルビの歌をいつも歌っています。お風呂とか遊びに行った時も歌っていて楽しく覚える姿がとても微笑ましいです。」

「うちの子が百玉そろばんが大好きみたいで、家でもよく話してくれます。」

「心の貯金のお話をこの前私にしてくれて、家でも机を片付けたり色々手伝ってくれるようになりました。」

「バイオリンに興味津々で、ついにこの前習い始めました。」

「コスモスハーモニー、いつも楽しく読んでいます。この前の一か月終了の節目の号の文章は感動して涙が出ました。」

ご家庭での話を豊かに聞かせて頂き、本当に有難いひと時でした。

教員という視点でもそうですし、父親という視点でも大変楽しく参加させて頂きました。

”本日は SOLAN カフェの開催、ありがとうございました！

おかげさまでたくさんの方と交流することができ、とても有意義で楽しい時間が過ごせました。

お忙しい先生方の貴重な休日に、このようなイベントを運営して下さったこと、心より感謝いたします。

以下、私の個人的な感想・気づきを書かせていただきますね。

1年生の保護者からはエアドロップで子どもたちが最近ゲームや写真を送りあっていること、Google アカウントがあるので子ども同士でチャットができることなど、把握していない情報を共有していただけて助かりました。

また、通学のため早起きしている子が多いとは思いますが、疲れて 19 時半には寝てしまうという子もいれば、22 時過ぎても元気でなかなか寝ない！という子もいるようで、同じ 1 年生でも体力差はだいぶあるんだなぁと感じました。

そして上級生の保護者からは、探究学習は親のサポートがけっこう必要であることを教えていただきました。

子どもが壮大なテーマを選んだりすると、調べようにも本やネット記事の漢字が読めない、どう情報収集するかは親のサポートがないと厳しい、恐竜などずっとハマっているものがある子は学年をまたいで同じテーマを深掘りし続けることもある、など大変参考になりました。

また、一緒に調べ物をするを通して、思春期の入口に立つ娘とのコミュニケーションが増えてうれしいというお父様の意見もあり、なるほど～と思いました。

今回の子連れ NG 開催については保護者から賛否両論ありましたが…

山田先生が「もし子連れ OK でいきなり参加者 100 人越えだと、駐車場問題や子ども向けプログラムをつくる必要も出てきます。まず第 1 回は小さく開催するためにも、あえて子連れ NG としました。」とおっしゃっていて、結果的には確かにそれが正解だったと思います。

大人だけの参加だと学校側の負担が小さく、大人だけで落ち着いて話せるというメリットがありますよね。

子ども参加可の場合は、子どもたちの普段の様子がわかること。そして親や先生が仲良く交流したり、良い学校をつくろうと話し合っている背中を見せることがいい刺激になるのではないかと思います。

以上、長くなりましたが。

今回は参加したくてもできなかった保護者の方も多いと思うので、個人的なレポートですがどなたかの参考になればうれしいです。

PN「AYA」さんより

AYAさん、まずはこれだけ丁寧にたくさんの言葉を紡いでいただきありがとうございます。

先日の優しいナッジを受け取り、こうやって連帯の一步を踏み出せたことを本当に嬉しく思っています。

会の中では他にも色々な声が上がっており、AYAさんは文章の中でそこについても丁寧にアウトプットして下さっていました。

特に「先生方しっかり休んでくださいね！」との我々の健康を気遣って下さる声が聞けたときは、共に子どもたちの成長の場を支えるパートナーとしての存在を力強く感じ、大変励まされる思いがしました。

また、「親や先生が仲良く交流したり、良い学校をつくろうと話し合っている背中を見せることがいい刺激になるのではないかと思います」の部分にとっても強く共感しました。

その背中を見て育っていける子どもたちがどれほど幸せな事かを想像すると、胸にグッと迫るものがあります。

それほど、現代の日本においては保護者と教員との間に大きな溝が生まれてしまっているからです。

一昔前は、地域で開催しているお祭りに先生が参加することも当たり前に行われていました。

学校での行事に保護者が協力して色々な食べ物を作ってきてくれることもありました。

子どもたちのスポーツの大会や音楽の発表会にもよく応援に駆け付けましたし、私の結婚式には当時の教え子たちが山ほどお祝いに来てくれたものです。

しかし、現代は地域のイベントに参加する文化はどんどん廃れてしまいました。

何かあってからでは大変だと、学校での行事に食べ物が NG になってしまっているところもどんどん増えています。

人が繋がったり重なったりする機会がどんどん減ると共に、本来は自然と生まれていた協力関係や信頼関係が薄まっている現象が日本中で見られます。

その辺りは、「コスモスハーモニーNo.5」にも詳しく書かせて頂きました。

この SOLAN カフェをはじめの一步として、お家の方々と手を取り合って教育の場を作っていく教育文化を創造していきたいです。

その可能性を大いに感じた幸せなひと時となりました。

ご参加誠にありがとうございました。(文責：渡辺道治)

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)